

水道の当然

みず

みち

あたりまえ

豊富で衛生的な水を、安定して供給するのが
上水道の役目です。

よもや蛇口が止まるなどは誰も考えません
しかし、水道に対するこのような

「あたりまえ感覚」は
いったいどこに由来するのでしょうか。

水道は使うみんなで守るもの。

ならば、水道に抱く信用や安心を守ること
も意識してみたいものです。

当然（あたりまえ）と想っていた水道（すいどう）を、
水道（みずみち）として捉え直してみました。

水の文化 12号 2002年10月

特集「水道の当然」

近い水、遠い水 嘉田由紀子 2

近世城下町に見る水道の知恵 神吉和夫 4

阪神淡路大震災 蛇口の水が止まった時 小林郁雄 10

郡上八幡の水縁空間 渡部一二 14

貴重な水を運ぶカナート 小堀巖 20

水の文化 築習実践取材 水みちと会話する

地図の下の探検フィールド 水みち研究会 24

水道は当然か 編集部 30

私にとっての水の文化 荒俣宏 34

紅茶の水色 小関由美 38

水の文化書誌 井戸 古賀邦雄 40

水に関する生活意識調査から

インフォメーション 43